

株式会社デンソー様 人材育成事例
ハードウェア技術者からソフトウェア技術者への「転進」
新たな挑戦を支援するためのキャリア研修

人材育成のトレノケート株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：早津 昌夫、以下トレノケート）は、株式会社デンソー様（本社：愛知県刈谷市、代表取締役社長：有馬 浩二、以下、デンソー）に効果的なリスキングを促すための「キャリア研修」を提供しています。

実践的なスキルだけでなくキャリア研修を実施する背景

トレノケートでは、デンソー様の「全社員が主体的にキャリアを構築し、自律したキャリアプランのもと積極的に組織に貢献してほしい」という方針に沿った人材育成を支援しております。デンソー様は、ハードウェア技術者に対して、ソフトウェア研修を行う前段階として、今後のキャリアを自ら考えてもらうきっかけにしようと「キャリア研修」を実施しています。

「キャリア研修」では、過去のキャリアにおける転機の振り返り、自身が大切にしている価値観・信念について言語化したうえで、10年後にありたい自分の姿について考え、そのために今できることを明確にするというカリキュラムを提供しています。

提供研修

「キャリア研修～キャリア転進プログラム参加者向け」

■研修のポイント

ワークを通じて、自分を理解し、自分の「価値観」を言語化。将来モビリティ業界の最先端で広く活躍するために、今何をすべきか考えます。

	内容		内容
1	キャリアとは何か <ul style="list-style-type: none">「自分のライフラインチャートを作成する」「原点回帰」する偶発性を活かす～計画された偶発性理論～	4	キャリア自律における考え方 <ul style="list-style-type: none">キャリア自律時代における「プロティアン・キャリア」キャリア・レジリエンス10年後の会社と私、5年後、3年後の仕事と自分を考える
2	キャリアの転機 <ul style="list-style-type: none">キャリアには「転機」がある「私の"転機"経験」	5	キャリア開発には、「能力開発」が含まれる <ul style="list-style-type: none">「能力開発」の必要性人は経験から学ぶ今後起こりうる変化（自分の変化、周囲の変化）「ライフ・シフト」（無形資産）そのために今、何をするか？
3	自分の仕事を支える「自分軸」を見つける <ul style="list-style-type: none">自分の仕事を支える「キャリア・アンカー」の考え方「私の仕事における価値観」を言語化する「自分の軸（ミッション・ステートメント）」を考える		

講師の声

最初は、新しい挑戦に対して、期待と不安を胸に研修に参加なさっている様子でした。

自動車への愛や将来への展望、自動車産業や自社について、ひとりひとりが思い描く素敵な未来像があり、自分たちの強みを生かして、業界や自社の未来をご自分たちで切り開く機会なのだと捉えられておりました。

研修の詳細

詳細はトレノケート Web をご覧ください。PDF ダウンロードも可能です。

<https://www.trainocate.co.jp/gkservices/cases/case202208.html>

【トレノケート株式会社 会社概要】

代表取締役社長：早津 昌夫

設立：1995年12月6日

本社所在地：東京都新宿区西新宿6丁目8番1号
住友不動産新宿オークタワー19～20階

事業内容：IT 技術教育、ビジネススキル教育を中心とした人材育成業務

URL：https://www.trainocate.co.jp/

* 掲載された社名、製品名は、各社の商標及び登録商標です

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

トレノケート株式会社

広報窓口：マーケティング戦略部 広報担当

電話（代表）：03-3347-9686

メールアドレス：PR@trainocate.co.jp

お問い合わせ：https://www.trainocate.co.jp/gkinfo/form.aspx